

# あやめRepo

みんなで創る しあわせに暮らせるまち 長井



2015.6.15  
vol.29

発行/山形県長井市  
問い合わせ/長井市総合政策課 tel.0238-87-0714  
http://www.city.nagai.yamagata.jp

## 平成26年7月9日～10日の豪雨災害概要

### 雨量(観測地点:長井)

降り始めからの総雨量 **207.5mm** (7月8日21:00～11日9:00)

#### ◎観測史上第1位の記録

- ・日最大降雨量 **183.5mm** (7月9日)
- ・最大24時間降雨量 **195.5mm** (7月9日2:30～10日2:30)

#### ◎被害状況

- ①家屋浸水被害
  - ・住家/床上浸水 **7棟** 床下浸水 **40棟**
  - ・非住家/**36棟**
- ②市道・河川など
  - ・市道/被害路線 **43路線**
  - ・冠水 **8箇所**
  - ・河川/被害河川 **22河川**

※長井市総務課調べ

# 備えの種類

災害に対して、何を備えておけばよいのでしょうか?物だけを準備しておけば安心、ということではありません。具体的に1つひとつ、家族みんなで確認しましょう。

- 備品**
  - ◎非常持出品の準備
  - ◎非常備蓄品の準備
- 情報**
  - ◎防災情報の伝達方法
  - ◎防災情報の収集
- 心構え**
  - ◎自主防災組織の役割
  - ◎土砂災害警戒について

### 避難勧告などの情報伝達

災害が発生したり、発生するおそれのある状況になると、市は避難勧告や避難指示を発令します。携帯電話の緊急速報メールや市のHP、自主防災組織への連絡などで市民の皆様へ伝達してきましたが、今後はそれに加え、コミュニティFMおららんだラジオを通じた緊急放送も行います。災害時にはおららんだラジオからの情報にも注意してください。

### 避難所への食糧や生活用品の備蓄

5年間の保存が可能な食糧や飲料水をはじめ、災害用毛布、簡易トイレなどを購入し避難所機能の強化を図ります。今後はすべての避難所へ配備できるように、計画的な備蓄を行っていきます。

### 自主防災組織への支援

災害時には、県や市、消防本部などの防災関係機関による救出活動などの「公助」、市民一人ひとりが自分の命を守る「自助」のほか、地域住民が自分たちの地域は自分たちで守るという考えで防災活動に取り組む「共助」が重要です。地域ぐるみの助け合いを進めるために、自主防災組織の訓練や資機材の整備などの防災活動に対して支援していきます。

# 災害への備え。できていますか?

長井市では2年連続で記録的な水害が起きています。

長井の地名は「水の集まるところ」に由来しており、その豊かな水環境に育まれて生活分野や産業が発展してきました。市内には至るところに水路があり、水もきれいでとても身近な存在です。長井市と水には深いつながりがあるのです。

しかしながら、昨年・昨年と2年続けて局地的な豪雨に見舞われ、昨年は24時間雨量が観測史上最大の195.5mmメートルに達し、市内の小河川の氾濫による道路の冠水、家屋の床上・床下浸水の被害が

多数発生しました。長時間降り続いたことに加え、置賜白川、最上川の水位も急激に上昇しました。また土砂災害の発生により、避難勧告を発令するなど、市民生活に多大な影響を及ぼしました。その中において、人的被害がなかったことは幸いです。

水害だけではなく、地震、雪害、火災などの様々な災害から生命と財産を守り、被害を最小限に抑えるために、一人ひとりが普段から災害に備えておくことを積み重ねておくことが大切です。



# 長井市が整備しているもの

## できていますか? 災害への備え。

### 運動公園の活用例

- ◎陸上競技選手権大会の開催
- ◎長井マラソン大会の開催
- ◎東北高等学校駅伝大会、山形県高等学校駅伝大会の開催
- ◎サッカー競技の開催
- ◎中学生、高校生の部活動やスポーツ少年団の練習会場
- ◎実業団陸上部や大学、高校の合宿
- ◎災害時に備えた備蓄倉庫
- ◎災害後の仮設住宅建設予定地

南中は近いので、毎日のようにここで練習しています。生徒たちの技術の上達も早いです。土のグラウンドでは練習できないことができています。これ以上恵まれた練習場は、なかなかないと思います。

いい環境で練習させていただいているので、期待に応えられるよう、1つでも上位の大会に行けるようにしたいと思います。

土日には小学校・中学校・高校などみんな一緒に練習できれば、学年や学校が違う生徒同士の交流もできて、もっとよくなるんじゃないかと思っています。

春からここで練習を始めました。土と違って滑ったりしないので、とても走りやすいです。まもなく大会なので、3年間やってきたことをしっかりと、全力で1本1本の走りにいきるようにしていくのが目標です。

大会と同じような環境で練習できるので、とてもいいと思います。メニューは先生たちに指導していただきながら練習しています。もうすぐ大会があって、自己ベストを出すのももちろんですが、記録や順位でも負けないようにしたいです。

3年生なので練習はじめてばかりですが楽しいです。記録会では100m走に出ます。18秒台を目指して頑張ります。

もっと早く記録会で100m走に出ます。目標は17秒台です。練習楽しい!

### 陸上競技場使用料

区分	使用料	夜間照明使用料(1時間)
専用使用するとき	入場料金を徴収しない場合 1,400円(1時間)	団体 810円 個人 50円
	入場料金を徴収する場合 4,210円(1時間)	
一部使用するとき	団体(小・中学生及び高校生) 1,080円(1回)	団体 1,620円 個人
	団体(一般) 2,160円(1回)	
	個人(小・中学生及び高校生) 100円(1回)	
個人(一般) 200円(1回)		

### 芝生広場使用料

区分	使用料(1時間)	夜間照明使用料(1時間)
専用使用するとき	1面 1,400円	団体 1,620円 個人
	1/2面 700円	
一部使用するとき	団体 540円	
	個人 100円	

※団体は20人以上での使用の場合

**利用時間 9:00~21:00 (休み・水曜日)**

◎問い合わせ:長井市教育委員会生涯スポーツ課(生涯学習プラザ内) TEL・FAX.0238(88)5661

## 読者の声 大募集!

長井市や「あやめRepo」について、市民の皆さんからのご意見・ご感想などを募集します。お寄せいただいた声は、今後本誌でご紹介し、誌面制作に反映させていただきます。より良い誌面にするため、たくさんの声をお待ちしています。お気軽にお寄せください。

- ◎郵送の場合
  - 〒993-8601 山形県長井市まのの上5番1号
  - 長井市総合政策課 行
- ◎Eメールの場合
  - seisaku@city.nagai.yamagata.jp

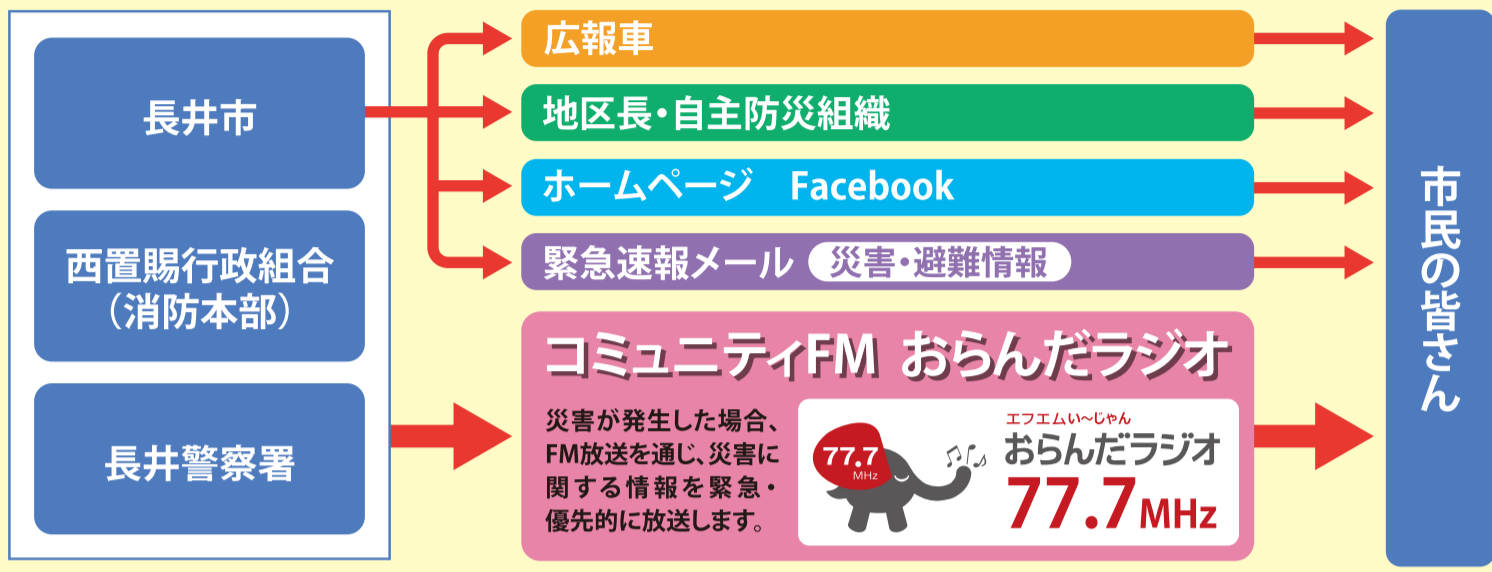




災害時に身の安全を守り、落ち着いて行動するために情報の収集は欠かせません。長井市による情報伝達以外にも、ラジオやホームページを活用するようにしましょう。また、危険を感じたら早めに避難を開始し、身を守る行動をしてください。

# 〈情報〉に関する備え

## 長井市の防災情報の伝達方法



## 情報収集に役立つホームページ

県や国が運営するホームページでは災害に関わる情報が確認できます。タブレットやスマートフォンのブックマークに登録してすぐに情報が確認できるようにしておくことも、1つの備えになります。

**山形地方気象台** [www.jma-net.go.jp/yamagata/](http://www.jma-net.go.jp/yamagata/)

気象台のHPでは、気象警報や雨量状況、地震や火山、積雪などの情報を確認できます。

**XRAIN** [www.river.go.jp/xbandradar/](http://www.river.go.jp/xbandradar/)

国土交通省が全国に設置している雨量観測レーダーで、降雨状況を確認できます。

**山形県河川・砂防情報** [www.kasen.pref.yamagata.jp/](http://www.kasen.pref.yamagata.jp/)

県内の雨量や河川の水位、土砂災害情報、土砂災害警戒区域の指定状況なども確認できます。

**こちら防災やまがた!** [www.pref.yamagata.jp/bosai/](http://www.pref.yamagata.jp/bosai/)

山形県が運営する防災に関するHP。県内で災害が発生した際は被害状況が発表されます。

**山形河川国道事務所** [www.thr.mlit.go.jp/yamagata/](http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/)

国土交通省では管理する道路、河川にライブカメラを設置しHPで公開しています。

## 避難情報の種類

情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
<b>避難準備情報</b>	◎人的被害が発生する可能性が高まっている状況。	◎高齢者、病人、障がい者は支援者とともに避難所へ早めの避難。 ◎非常持出袋を用意するなどいつでも避難できるように準備。
<b>避難勧告</b>	◎人的被害が発生する可能性がさらに高まっている状況。	◎避難所へすみやかに避難を始める。
<b>避難指示</b>	◎災害の前兆現象の発生や切迫した状況から人的被害が発生する可能性が非常に高まっている状況、または実際に人的被害が発生した状況。	◎避難中の人は確実に避難を完了。 ◎いまだに避難していない人は直ちに避難を始める。 ◎避難の時間的な余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をする。



急いで避難しなければならない災害時に、あまり多くのモノを持ち出す余裕はありません。そのような場合に備えて、避難をする時に持ち出すモノ、被災後の生活に必要なモノなど、日頃から用意しておきましょう。

# 〈備品〉に関する備え

自己チェックしてみましょう!!

非常持出品 最低限必要なもの	飲料水・非常食 調理せずそのまま食べられるもの	貴重品	救急医薬品	情報・照明	衛生用品	その他
災害後に避難するときに、すぐ持ち出せるようにしておきます。避難時に両手が使えるようリュックタイプの袋にまとめましょう。 	<input type="checkbox"/> 飲料水 (ペットボトル) <input type="checkbox"/> 乾パン・クラッカー <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> 水 	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預貯金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 住民票のコピー <input type="checkbox"/> 鍵(自宅・車など)	<input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> ピンセット <input type="checkbox"/> 消毒薬 <input type="checkbox"/> 風邪薬 <input type="checkbox"/> 胃腸薬 ★持病のある人は常備薬	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 (できれば1人1つ) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 各端末充電器 <input type="checkbox"/> 乾電池 ※電池が必要なものは単3電池で統一しておくとしりしりして使えるので便利	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> トイレ用ペーパー <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> 洗面用品 <input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 万能ナイフ <input type="checkbox"/> アルミ保温シート <input type="checkbox"/> スリッパ <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> レジャーシート <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 使い捨て食器類 (箸・皿・コップなど)

非常備蓄品 数日間の生活環境を支えるためのもの	飲料水・非常食 そのまま食べられるか簡単な調理で食べられるもの	衛生用品	調理用品	生活用品
家族全員がわかる場所で、家具や家屋が倒壊しても取り出しやすい場所に分散して保管しておきます。 	<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3Lが目安) <input type="checkbox"/> レトルトごはん・アルファ米 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> 調味料 <input type="checkbox"/> 菓子類(チョコレート・飴など) ★幼児がいる場合 <input type="checkbox"/> 粉ミルクと哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 離乳食 ★アレルギー体質の人がいる場合はその事情にあった食料 ★ペットがいる場合はペットフード	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> トイレ用ペーパー <input type="checkbox"/> ビニール袋(透明・黒) <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> 洗面用品 <input type="checkbox"/> 手指消毒剤 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 紙おむつ	<input type="checkbox"/> 卓上コンロとガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料 <input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> 使い捨て食器類 <input type="checkbox"/> ナベ <input type="checkbox"/> ウォータータンク(飲料水用)	<input type="checkbox"/> パケツ・ポリタンク(雑水用) <input type="checkbox"/> 裁縫セット <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ライター・ろうそく <input type="checkbox"/> 毛布や寝袋 <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> レジャーシート <input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> 簡易トイレ



## 土砂災害警戒区域について

長井市には土砂災害により被害を受けるおそれがある場所として、山形県から指定された区域があります。平成27年4月1日時点で69カ所が指定されています。

指定区域がある地区	
中央地区	日の出町、金井神
致芳地区	白兔、森、東五十川
西根地区	寺泉、川原沢、草岡、勸進代
平野地区	平山
伊佐沢地区	上伊佐沢、芦沢、中伊佐沢
豊田地区	指定区域なし

## 土砂災害警戒区域を確認しておきましょう

ハザードマップでは土砂災害警戒区域を確認できるので、住んでいる場所が早めに避難する必要があるエリアなのか、避難する道順をどうするかを確認しておきましょう。

## 土砂災害警戒情報に注意

雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意してください。土砂災害警戒情報とは、大雨により土砂災害発生の危険度が高まったときに、県と気象庁が共同で発表する防災情報です。「土砂災害警戒情報」が発表されると市では...

- ◎携帯電話の緊急速報メール
- ◎おらんだラジオ(77.7MHz)への割込み放送 など

によって市民の皆さんにお知らせします。

## 土砂災害警戒区域

土砂災害によって住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。

## 土砂災害特別警戒区域

土砂災害によって建築物に損壊が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。

住んでいる場所が「土砂災害警戒区域」などに含まれているかは下記で確認できます。

- ◎長井市洪水ハザードマップで確認する
- ◎県のホームページで確認する(長井市の土砂災害警戒区域等の指定状況) [山形県 土砂災害警戒区域](#)



実際に災害が起きたら、どんな行動をすればよいのでしょうか？ 災害時は誰もが不安と恐怖を感じてパニックに陥りがちですが、事前に災害について知り、対応を確認しておくことで少しでも冷静に対処できるようにしておきましょう。

災害時の活動	平常時の活動
<b>避難所の開設・運営への協力</b> 避難所の開設、避難誘導、食料・物資関係、衛生管理	<b>危険箇所などの点検</b> 消防水利の確認、燃えやすいものの放置状況、ブロック塀や看板、自動販売機など、倒れやすいものの点検など。
<b>情報の収集・伝達</b> 自治体などと連絡を取り合い、災害に関する正しい情報を住民に伝達する。	<b>防災訓練の実施</b> 避難所開設・運営、避難誘導、初期消火、応急救護、情報収集・伝達、給食(炊き出し)などの訓練。
<b>救出活動</b> 負傷者や倒壊した家屋などの下敷きになった人たちの救出・救助活動など。	<b>防災訓練にも家族で積極的に参加しましょう。</b> 子どもの防災意識も高まり、手順の確認や備えについて学ぶことができます。
<b>初期消火活動</b> 出火防止のための活動や消火器、消防水利の確保、パケツリレーなどによる初期消火活動など。	<b>排水溝の掃除</b> 落ち葉や土で詰まりやすい玄関前や道路脇の排水溝の掃除など。
<b>医療救護活動</b> 負傷者の応急手当、救護所への搬送など。	<b>防災知識の普及</b> 防災マップの作製、防災講習会・映画上映会の開催、地域のお祭りや運動会などでの防災イベントの実施など。

# 災害に対する〈心構え〉

## 個人でできる心構え

平常時にしておくこと

- 1 地域で起きる災害を知っておく**  
洪水ハザードマップにより、住んでいる場所が浸水想定区域や土砂災害警戒区域に入っていないか確認しましょう。
- 2 避難場所を知っておく**  
長井市では7カ所の広域避難場所、22カ所の一時避難場所を指定しています。住んでいる地域の避難場所やそのルートを確認しましょう。
- 3 状況に応じて避難する**  
避難勧告が発令されたら危険だと判断した場合、非常持出品を持って避難します。電気のブレーカーをおとし、ガスの元栓を締め、ヘルメットをかぶって避難します。避難時に車は使いません。安全が確認されるまでは避難場所から自宅へ戻ってはいけません。

## 家族、周囲の人の安全を確認する

- 1 身の安全を確保する**  
周囲の状況を確認し、慌てずに災害に応じて身の安全を確保します。※地震ならテーブルの下に入り、落下物から身を守る、水害なら高い建物へ移動するなど。
- 2 家族、周囲の人の安全を確認する**  
声を掛けあってお互いの安全を確認します。災害時要援護者(高齢者、ケガ人、乳幼児、外国人など)への手助けを行います。
- 3 状況に応じて避難する**  
避難勧告が発令されたら危険だと判断した場合、非常持出品を持って避難します。電気のブレーカーをおとし、ガスの元栓を締め、ヘルメットをかぶって避難します。避難時に車は使いません。安全が確認されるまでは避難場所から自宅へ戻ってはいけません。



個人でできる心構え  
平常時にしておくこと

災害が起きたら  
身の安全を確保する